

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.12.5 No.214 連絡先 FAX 042-555-1911



MV22オスプレイの横田基地への飛来・訓練の中止、等を申し入れ

オスプレイ来るな！などの集会を呼びかけてきた6者（横田基地問題を考える会、横田基地の撤去を求める西多摩の会、横田基地もいらない！市民交流集会実行委員会、第2次新横田基地公害訴訟原告団、第9次横田基地公害訴訟原告団、横田・基地被害をなくす会）は、在日米軍司令官アンジェレラ空軍中将、各省庁大臣（総理・外務・防衛大臣）及び北関東防衛局長に、オスプレイ等についての申し入れ書（11月26日付）を、27日に郵送しました。

申し入れ書の内容は、1. MV22 オスプレイの米空軍横田基地への飛来・訓練を中止すること、2. MV22 の飛行は日米合意を遵守すること、また、住民の安全確保、飛来情報の周知できる事前通告を徹底すること、3. CV22 オスプレイの米空軍横田基地への配備計画を断念すること、4. 横田基地での騒音被害の解消および墜落・落下物の危険を除去すること、5. 米海兵隊普天間基地に配備されたMV22 オスプレイは撤去すること、です。



28日には、舛添東京都知事宛の要請書を持って都庁に行きました。6者が在日米軍や政府に申し入れしたことをつたえ、都知事に住民や周辺自治体の要望が実現されるよう尽力をおねがいする要請です。

当日は都議会初日であり、要望書を手渡すのが目的です。都市整備局、基地対策部、基地対策担当の2名が対応。約20分でしたが、参加者はそれぞれ切実な思いを伝えました。（写真：都庁で要望書を手渡す）

厚木基地配備の海自C-130R C-5Mスーパーギャラクシーも横田へ

11月29日の横田基地、海上自衛隊・厚木基地に配備されるC-130R(9053)が13時26分離陸しました。11月14日にも、海上自衛隊・厚木基地に配備されるC-130R(9052)が離陸しました。



防衛省の11月13日付報道資料は「C-130Rは、海上自衛隊が使用している輸送機(YS-11)の後継機として、平素における海上自衛隊基地間の人員や物資の輸送を担うほか、大規模災害発生時の救援物資等の輸送に対応する」「14日に厚木基地に配備される」としていました。

「なお、今年度中に合計6機が、厚木基地へ配備される予定」です。（C-130：長さ約30m）

同じ11月29日、C-5Mスーパーギャラクシーが離着陸しました。C-5の延命と近代化改修を



目的として開発が進められていた最新型です。最近は、たびたび、横田に飛来しています。（C-5：長さ約75.3m）大きい。

横田基地 C-130の部品が紛失 昨年7月以降5件目 (No. 214 の裏面)

11月25日、横田基地所属のC-130輸送機による部品紛失について、外務省を通じて米側からの情報提供が、横田防衛事務所を通じてありました。(写真は3月26日落下のワイヤアンテナ)

【日時：11月25日午前0時53分頃、場所：横田飛行場、機体：横田基地所属C-130、概要：飛行後の整備士による点検において、Clam Shell Latch(約5.5センチ×約1.8センチ)の遺失が判明したもの。現時点では落下した時間及び場所は不明。



被害状況：現在のところ確認されていない。】(Clam Shell Latch：クラムシェルラッチは、エンジンナセルの防火壁後方にある観音開きの扉があかないようにするための掛け金。)

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は11月26日、横田基地に対して、「部品等の落下は人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものです。同型機の部品紛失事故は、昨年7月以降、5件発生しています。これまで、再発防止の徹底を要請してきたにもかかわらず、こうした事故が繰り返し発生していることは、極めて遺憾です。度重なる事故の発生に対して厳重に抗議する」とともに、「1. 事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。2. 航空機の点検整備を強化し、安全確保の徹底を図るとともに、安全性が確認できるまでC-130輸送機の運用を停止すること。3. 以上に

- に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。」を要請しました。【5件の落下は次の通り】
- ① 2013年7月30日…バッテリーを覆うアルミ製のカバーパネル(約20×約30センチ)
 - ② 2014年3月25日…アルミ製パネル(約8×13センチ)(乗組員出入口下部に取り付け)
 - ③ 2014年3月26日…ワイヤアンテナ長さ60フィート(約18メートル、重さ4.5kg)
 - ④ 2014年6月3日…金属製ラッチ(掛け金)(5.5センチ×1.8センチ、重さ8グラム)
 - ⑤ 2014年11月25日…ラッチ(掛け金)(5.5センチ×1.8センチ)

横田基地内から大音響 深夜に1時間 苦情 270件

11月25日深夜の1時30分頃から2時30分頃まで、約1時間、横田基地内から奇妙な大音響が発生し、福生市、羽村市、瑞穂町、青梅市など多くの住民が起こされ、「深夜なのに何事?」と驚き、各自治体や横田基地に対し270件を超える問い合わせや苦情が寄せられました。



横田基地に設置されている基地内放送システム、いわゆるジャイアント・ボイスが、誤作動のようでした。周辺5市1町で構成する横田基地周辺市町基地対策連絡会では、25日、「基地内から大音量のサイレン音が聞こえれば、周辺住民は、有事の事態が発生したのではないかと非常に不安な状況となります。今回の誤作動の原因を調査し、再びこのような事態が起こらぬよう万全な対策を講じることを要請いたします。」と、口頭要請を行いました。

ティルト・ローター機の機種決定について 防衛省

「平成27年度概算要求に計上している陸上自衛隊のティルト・ローター機として、本日(11月21日)、以下のとおり機種を決定したので、お知らせします。1 提案者及び機種 米国防務省提案のV-22 2 選定理由 V-22は、陸上自衛隊のティルト・ローター機として必要な要求事項を全て満足しているものであった。」と防衛省。まさに対米従属の日本政府です。